

## 指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	子ども家庭局子ども家庭部保育課
評価対象期間	平成18年4月1日～平成22年3月31日

## 1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立おぐまの保育所	施設類型	目的・機能
	所 在 地	北九州市小倉北区新高田一丁目10番3号		
	設置目的	児童福祉法第39条に規定される保育所として、日々保護者の委託を受けて、保育に欠けるその乳児又は幼児を保育することを目的とする児童福祉施設である。		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 非利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 一部利用料金制 ・ <input type="checkbox"/> 完全利用料金制			
	インセンティブ制 有・ <input type="checkbox"/> 無		ペナルティ制 有・ <input type="checkbox"/> 無	
指定管理者	名 称	社会福祉法人北九州市小倉社会事業協会		
	所 在 地	北九州市小倉南区重住一丁目8番20号		
指定管理業務の内容	保育所の管理及び保育の実施			
指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日			

## 2 評価結果

評価項目及び評価のポイント	配点	評価 レベル	得点
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み	50		30
(1) 施設の設置目的の達成 国の法令に基づいて設置されている施設の場合、当該法令に規定されている趣旨を達成するための取組みがなされ、その効果があったか。 利用者に対する「保育課程」「指導計画」に基づき、適切に保育が実施されたか。 施設の設置目的に応じた効果的な広報活動がなされ、その効果があったか。 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。 利用者が高齢者、障害者（児）、児童等である場合、個々の利用者や、その家族の特性に応じた支援、取組みがなされ、その効果があったか。	30	3	18
<p>[ 評価の理由、要因・原因分析 ]</p> <p>保育方針がわかりやすく明示され、通常保育のほか子育て支援の取組みなど、計画に則った保育所運営が行われており、子どもの安全と健康保育を中心に、施設の環境改善にも努めている。</p> <p>保育の取組みについては、併設している南小倉市民センターの行事に参加したり、カレーパーティー、夏祭り、運動会、餅つき、クリスマス会など、子どもたちだけでなく年長者や地域住民、卒園児童、小学生、保護者等全体で楽しめる内容で工夫されている。食育にも力をいれており、エプロンシアターを利用して体の仕組みを学び、色々な食材を使ってレストランごっこを行い、地域の方や年長者とともに食事をする事により、食の楽しさを味わえるようにしている。</p> <p>特別保育事業に関しては、個別の実態に応じた子育ての援助を行えるよう事業の充実に力を入れている。延長保育に関しては月平均約20人、年間延べ300人以上利用している。人数に関しては、指定管理前からほぼ同じ利用状況である。異年齢児の関わりで育つものを大切にしながら、子ども自身が自主的に活動できるよう環境を整え、細かな働きかけを心掛けている。特に延長保育利用保護者との連携のため、年度当初の延長保育懇談会、各月のクラス便り、日々迎え時の連絡事項のほか、年一回「らいおん便り」を配布し、周知を計っている。</p> <p>障害児保育事業では、療育センター等関係機関との連携を図り、状況報告書や支援計画、個人記録を作成し、きめ細やかな対応をおこなっている。</p> <p>このように、保育の取組みに独自性が見られ、また個々の利用者及びその家族に応じ</p>			

たきめ細かな保育を行っている。			
(2) 利用者の満足度	20	3	12
利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。			
利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。			
利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。			
利用者への情報提供が十分になされたか。			
利用者が高齢者、障害者(児)、児童である場合、利用者や保護者等の満足度を高めるための特別な取組みがなされ、その効果があったか。			
[ 評価の理由、要因・原因分析 ]			
<p>児童およびその保護者が満足できる保育を行うことを目標としており、平成21年度アンケートは対象者30名、うち回答者17名。「子どもが保育所で生活している様子」について、非常に満足、概ね満足が100%、「保育体験や子育て勉強会などの子育て支援の活動」について94.1%、総合で96.3%という結果であり、保護者の満足度は非常に高い。(昨年度91.5%)</p> <p>全体連絡会、クラス懇談会や毎月のお便りを通じて保護者へ情報提供するとともに、保護者からの意見を取り入れ、改善に向けて検討をおこなっている。</p> <p>特別な取り組みとして、子どもたち及び職員の顔写真を名前入りプレートにし、各保育室に掲示することにより、コミュニケーションをとりやすく工夫がなされている。</p> <p>入所児童数200名を超す大規模保育所であるため、職員間の連携を図り、日頃から保護者とコミュニケーションをとり、安心して保育所に預けてもらえるよう保育の充実に努めている。</p>			
2 効率性の向上等に関する取組み	10		6
(1) 経費の低減等	10	3	6
施設の管理運営(指定管理業務)に関し、経費を効率的に低減するための十分な取組みがなされ、その効果があったか。			
清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。			
経費の効果的・効率的な執行がなされたか。			
[ 評価の理由、要因・原因分析 ]			

<p>子どもたちが外出した部屋の消灯、日よけの設置、手洗い後の閉栓確認、プールの水の活用、職員会議等できるだけ昼間の時間を利用し夕方からの会議時間を短縮するなど、細かな点まで節電・節水に努めている。平成18年度と比較して、児童数は増加しているにもかかわらず年間約14万円の削減がみられ、日々の取組みによる効果が評価できる。</p> <p>また、修繕、修理などは見積りを取り発注しており、軽易なものについては職員が対処している。</p> <p>経費節減により、テラスの取り付け、プールの修繕、壁塗り等をおこない、保育環境の整備に努めた。</p>			
(2) 収入の増加			
収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。			
[ 評価の理由、要因・原因分析 ]			
3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み	40		28
(1) 施設の管理運営（指定管理業務）の実施状況			
法令で職員の配置基準がある場合、その基準を守っている、 或いは、当該法令を上回る職員を合理的に配置していたか。	20	3	12
職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか（管理コストの水準、研修内容など）。			
地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。			
[ 評価の理由、要因・原因分析 ]			
<p>配置基準に基づいた必要な保育士が配置されている。</p> <p>職員一人ひとりの保育経験などを踏まえた研修計画が策定され、保育所内研修や各種の専門研修をおこない、職員の資質向上に励んでいる。</p> <p>併設している南小倉市民センターや北九州市立年長者大学校（周望学舎）の年長者、学童の小学生、地域住民に対して、保育所への理解と信頼を築くため、世代間交流やまつり等の行事を通して子どもたちの社会性向上の育成とともに地域に密着した保育所になるよう努めている。</p> <p>地域交流に関しては、昨年度より南小倉小学校との連絡会発足、山崎リゾートクリニックデイケアセンターとの交流など、更に交流の範囲を広めている。</p> <p>このように、定期的な会議や研修の実施による職員の資質・能力の向上や、積極的に地域との交流を図っていることから、高く評価できる。</p>			
(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	20	4	16
施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実			

<p>施されているか。</p>			
<p>施設の利用者の身体的自由や行動、人権に配慮して、不適切な制限や抑制を加えることなく、福祉サービスが提供されていたか。</p>			
<p>衛生管理及び感染症防止への対応などが適切であったか。</p>			
<p>施設の管理運営（指定管理業務）に係る収支の内容に不適切な点はないか。</p>			
<p>利用者が高齢者、障害者（児）児童等である場合、事故防止に特別の配慮、工夫がなされていたか。</p>			
<p>防犯対策、防災対策、利用者に事故が発生した場合などの危機管理体制が適切であったか。</p>			
<p>事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。</p>			
<p>[ 評価の理由、要因・原因分析 ]</p> <p>個人情報の保護・管理については「個人情報管理規定」を設け、職員に周知徹底を行っている。</p> <p>衛生管理に関しては、平成21年度の新型インフルエンザの発生の際、保護者への家庭保育の協力を呼びかけ、保育所内の消毒等を徹底し、早期に終息するよう努めた。内科検診、歯科検診も定期的実施している。</p> <p>事故発生時や非常災害時の対応についてマニュアルやチェックリストが整備されており、避難訓練等も毎月実施している。アンケートでも大変満足・満足の合計が100%という結果がでている。</p> <p>また、子どものけがについて、「けがのヒヤリマップ」を独自に作成し、けがをしやすい保育所内の場所を図で表示し、児童にもわかりやすく工夫がなされ、安全対策に活用している。</p> <p>施設整備に関しては、必要に応じて改修がおこなわれており、子どもたちが安全、快適に過ごせるようにしている。</p> <p>「けがのヒヤリマップ」は他の施設の模範となっていることから、安全対策や危機管理に関する取組みは優れているといえる。</p>			

【総合評価】

合計得点	64	評価ランク	C
<p>[ 評価の理由 ]</p> <p>これまでの保育所運営に基づく経験や知識を活かした保育に加えて、子どもたちの社会性向上の育成を目的に、施設の特性を活かし、地域との交流（特に校区内にある北九州市</p>			

立年長者研修大学校（周望学舎）との世代間交流）や市民センターの行事、保育所を開放した行事（夏祭りなど）を通して、地域と密接に関わった様々な取り組みも行っている。

更に、保育士の資質向上と保育の充実を目的に、職員会議や研修計画に基づいた研修を定期的に行い、問題点や課題について検討し、特別保育事業についてはゆとりある環境づくりと家庭的な保育内容の充実に努めるなど、子どもたちによりよい保育サービスを提供するための継続的な努力も行っている。

保育所運営に関しては、モニタリングの結果適切に行っていることがわかる。

また、アンケートの結果により保護者の満足度が非常に高く、大規模保育所であるがゆえに日頃から保護者とのコミュニケーションに配慮し、保護者への情報提供の方法や保護者のニーズ・苦情等へ対応する仕組みが整備され、きめ細やかな対応を行っている。

指定管理者として保育所運営を始めてから4年。事業計画に基づき、日々効率的運営と保育サービスの向上に努めている。

#### 【評価レベル】

評価 レベル	乗 率		
5	100%	良 い	目標（計画）を大幅に上回り、優れた管理運営がなされている
4	80%		目標（計画）を上回る管理運営がなされている
3	60%	普 通	目標（計画）どおり適正に管理運営がなされている
2	40%		目標（計画）を下回る管理運営がなされている
1	20%		目標（計画）を大幅に下回る管理運営がなされている
0	0%	適切でない	不適切な管理運営がなされている

#### 【総合評価】

- A：総合評価の結果、特に優れていると認められる  
（合計得点が90点以上）
- B：総合評価の結果、優れていると認められる  
（合計得点が80点以上90点未満）
- C：総合評価の結果、適正であると認められる  
（合計得点が60点以上80点未満）
- D：総合評価の結果、努力が必要であると認められる  
（合計得点が40点以上60点未満）
- E：総合評価の結果、かなりの努力が必要であると認められる  
（合計得点が40点未満）